

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		外出の機会が少なく、特に車イス利用者、歩行不安定な方の外出の機会が少ない。また個別の外出要望に対応しきれていない。	個別に本人の行きたい所、やりたい事を希望を聞き満足できる外出の機会を作る。	ホーム行事の外出の他に4. 6. 7. 9月の気候のよい季節に利用者二人と職員二人で買い物や食事、カラオケや墓参り等、本人の満足感の高い外出を行う。	8ヶ月
2		家族はほぼ一ヶ月に一度程度の面会があるが、少し会話して帰られる事が多く、生活面ではホームに任せきりの所も見られる。不足品のお願いには協力的だが、古くなった衣類の確認、ほつれ直し、ゴムの入れ換え等は職員が行っており、業務の負担になっている。	家族に多く関わってもらうことで、利用者との絆の強化につなげ、本人の今の状態も理解していただく。家族にも安心してもらう本人も快適に過ごしてもらうようにする。	季節の変わり目等、年2回ほど、家族の都合に良いときに時間を作ってもらいホームにて、居室や衣類の確認を行ってもらい利用者と共に衣類の入れ換えや整理・清掃を行ってもらう。職員も事前に日程を確認し協力するようにする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。